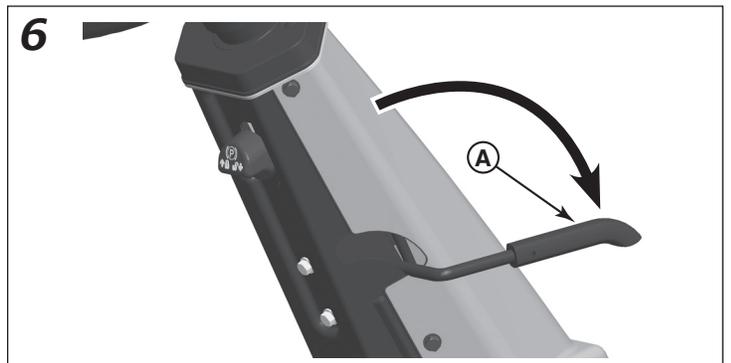
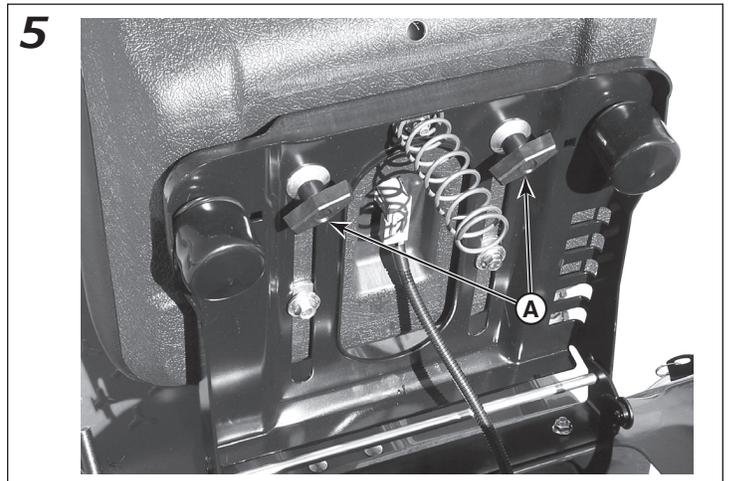
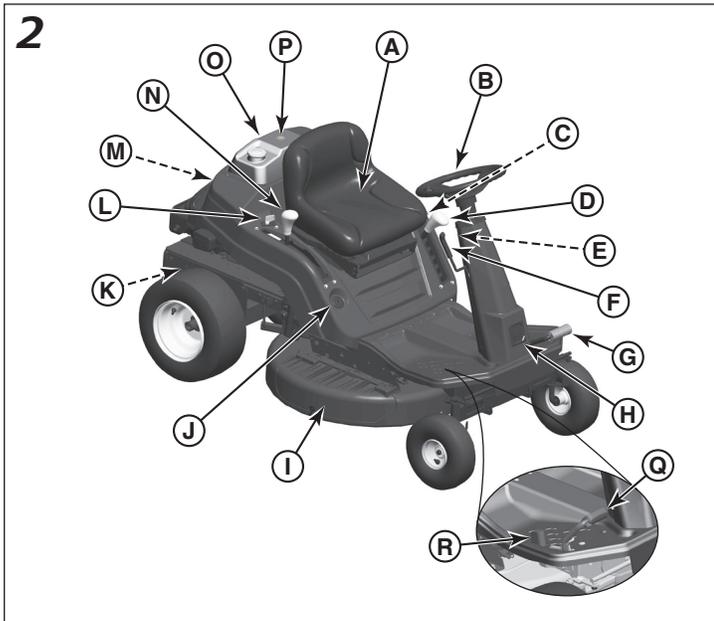
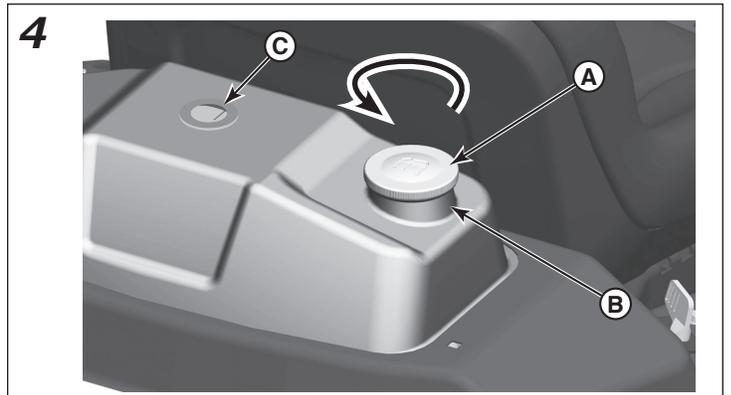
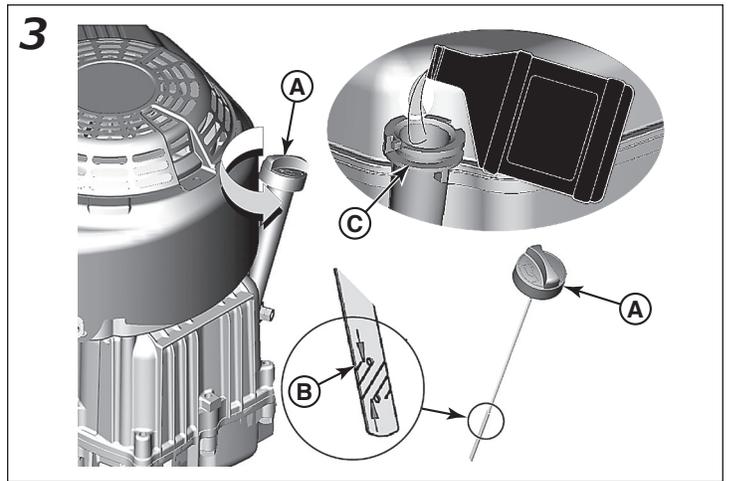
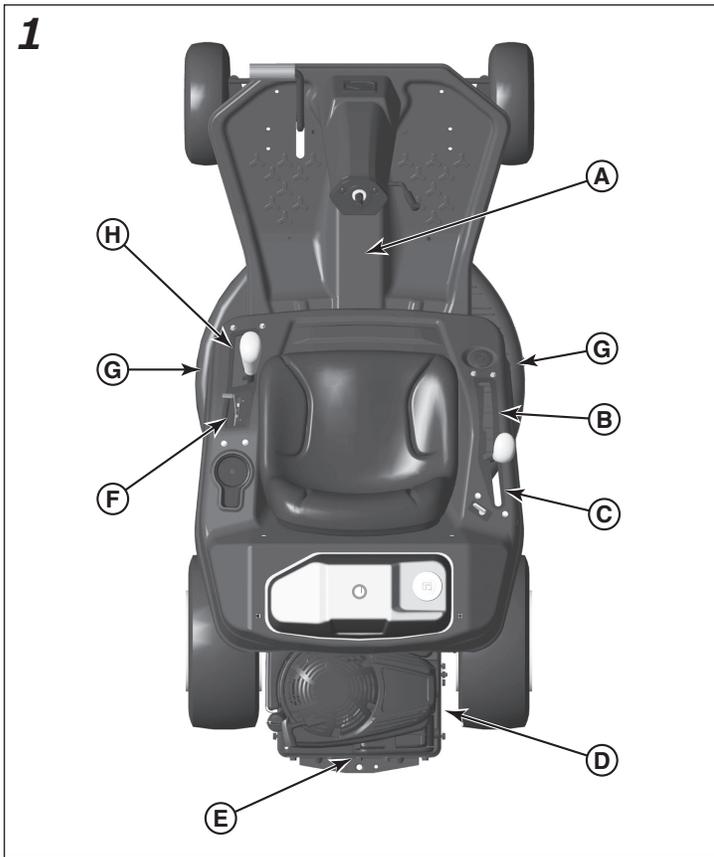
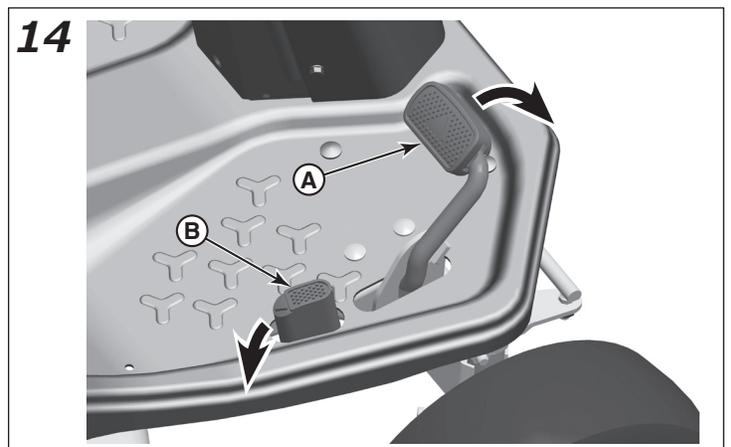
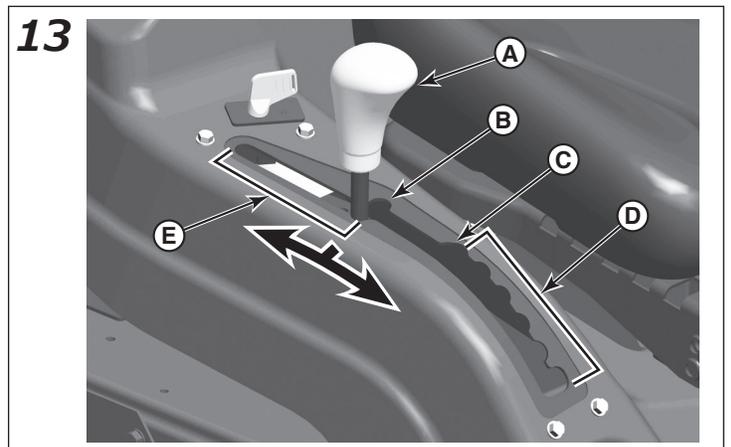
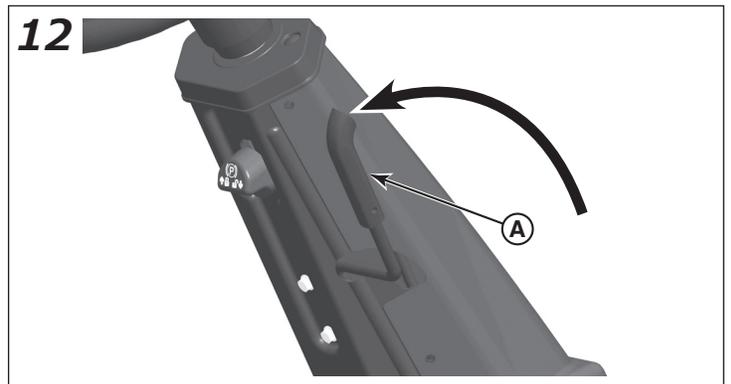
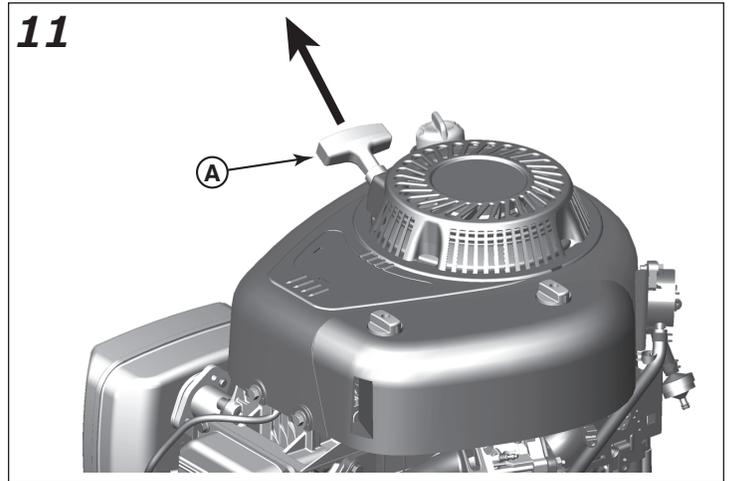
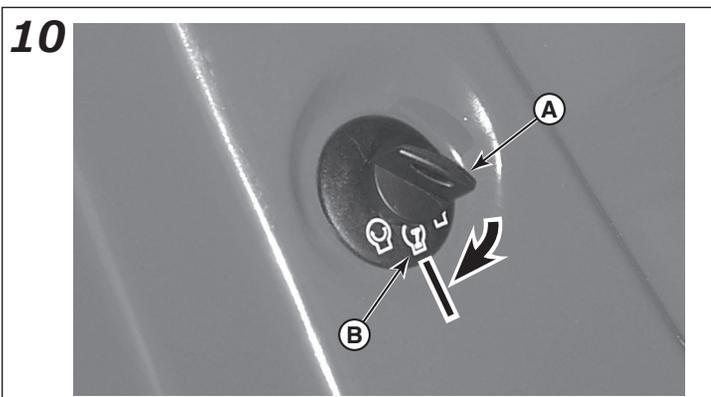
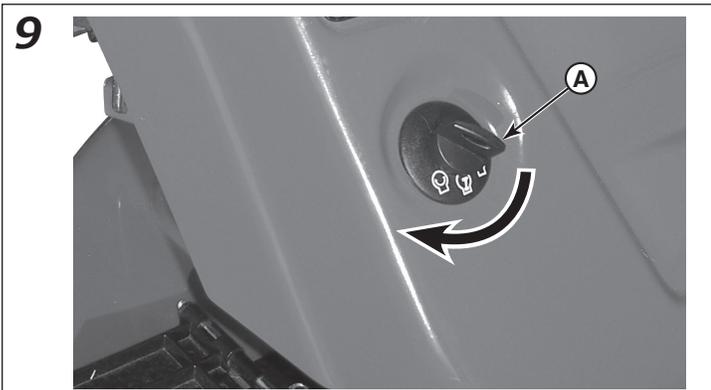
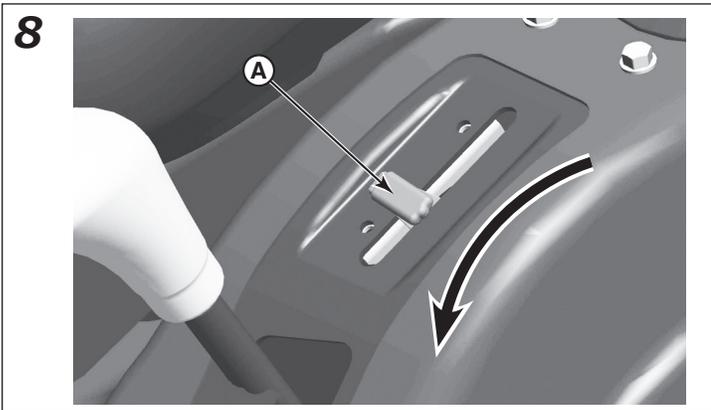
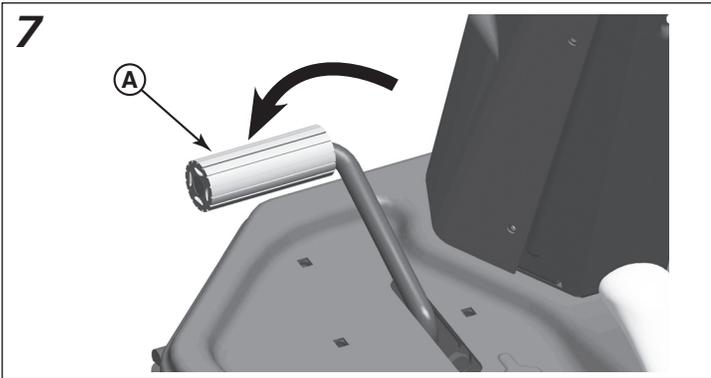


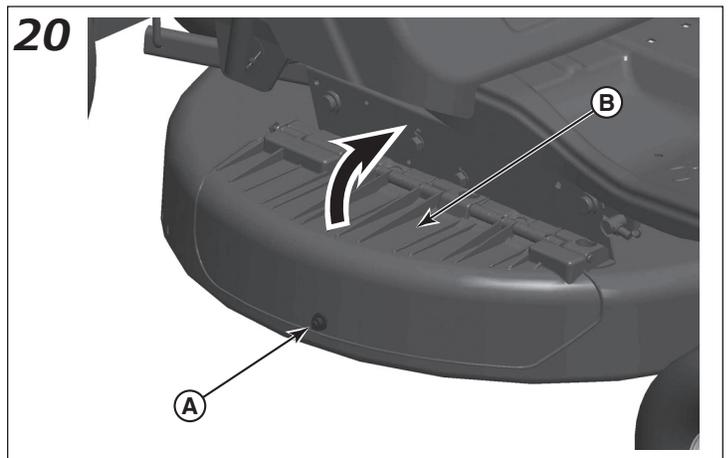
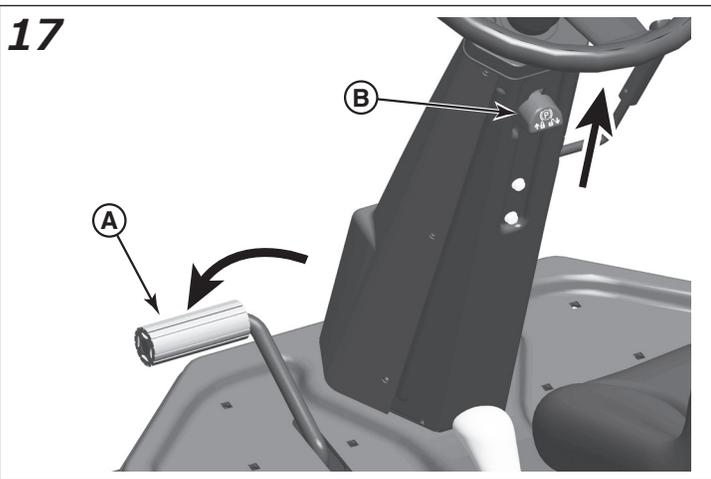
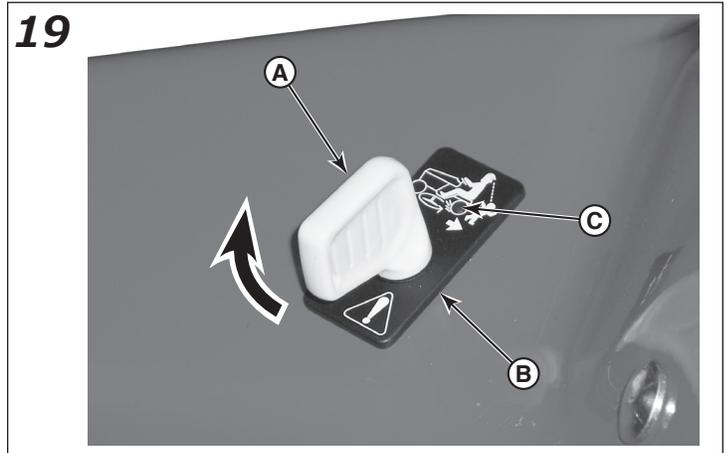
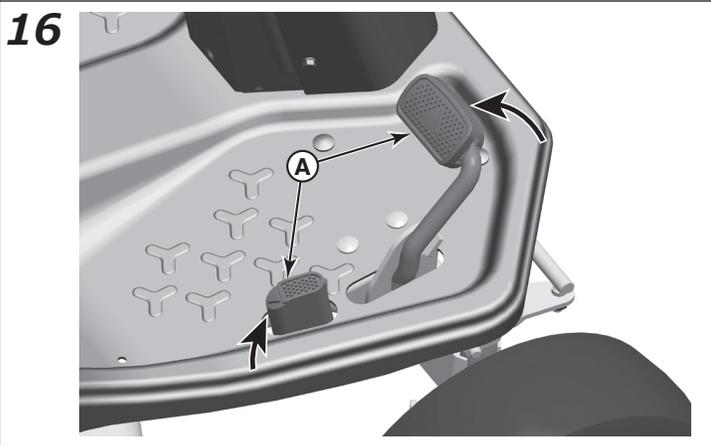
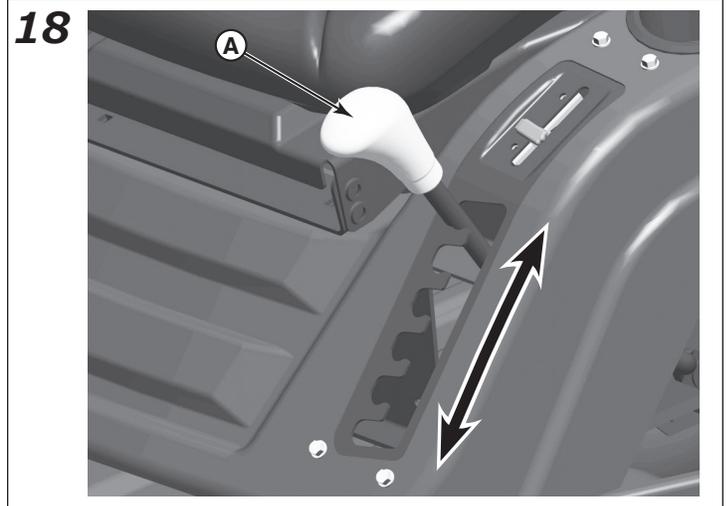
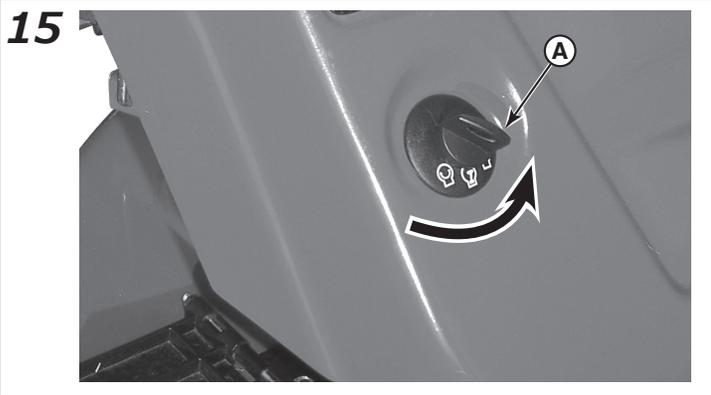


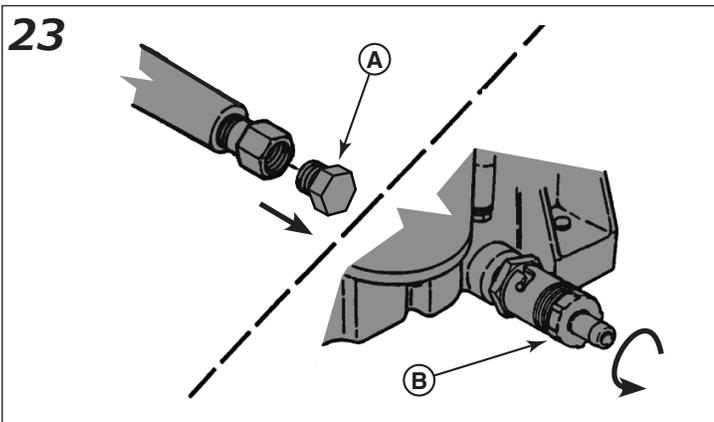
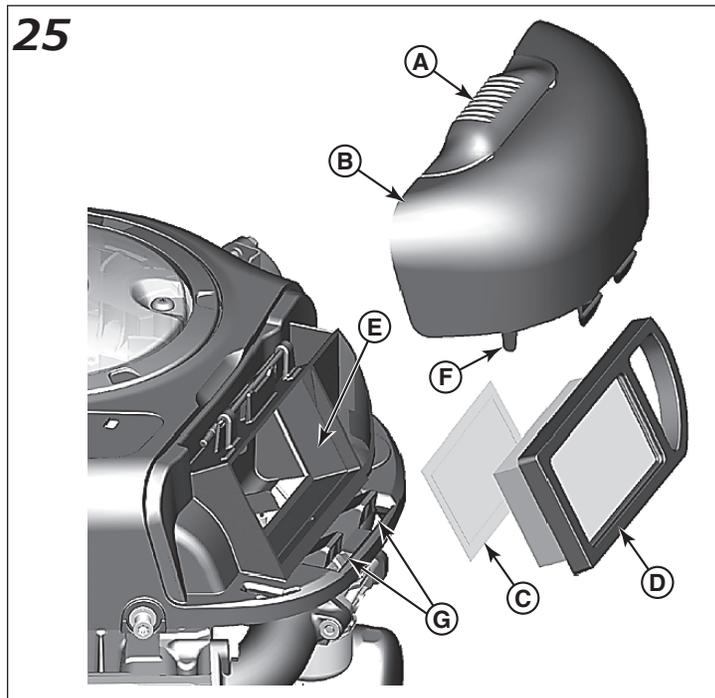
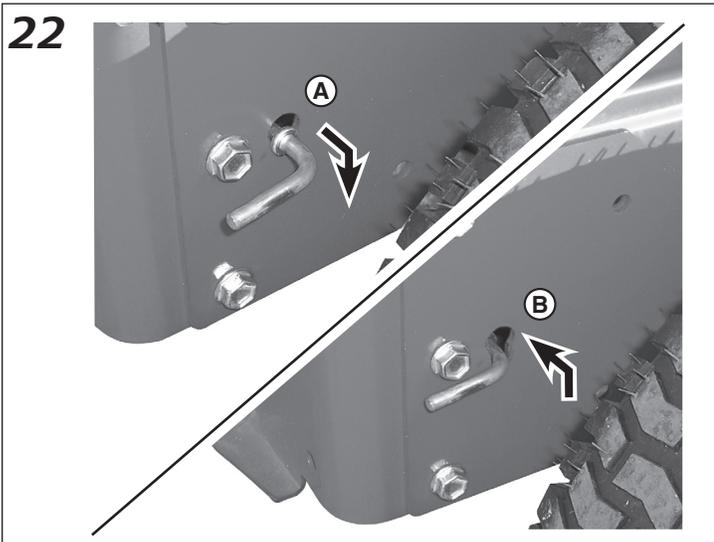
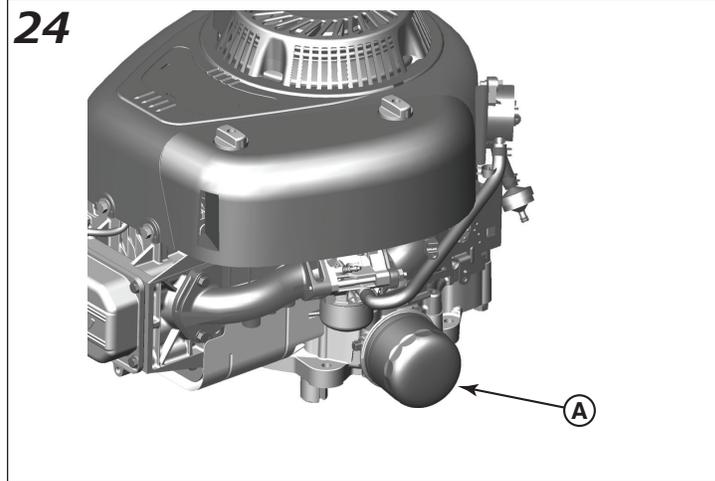
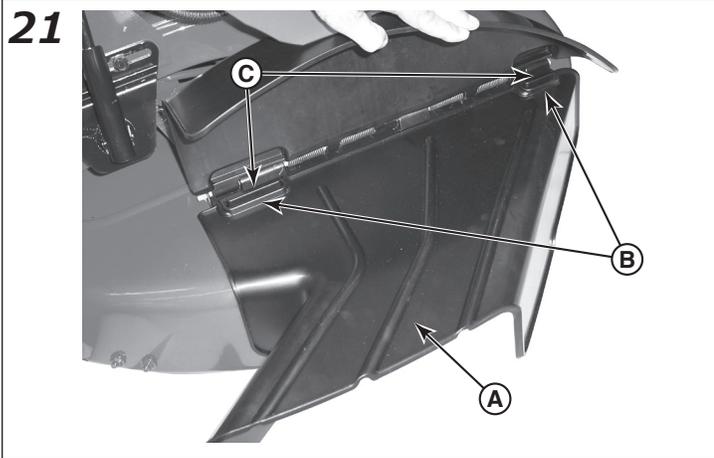
ja 操作マニュアル

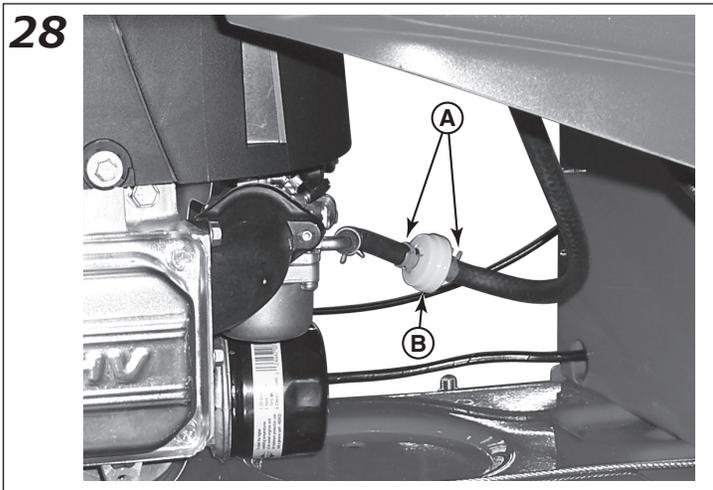
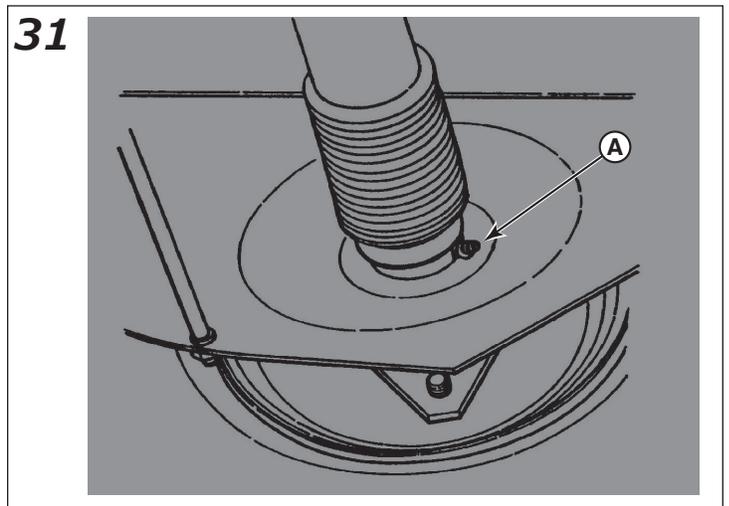
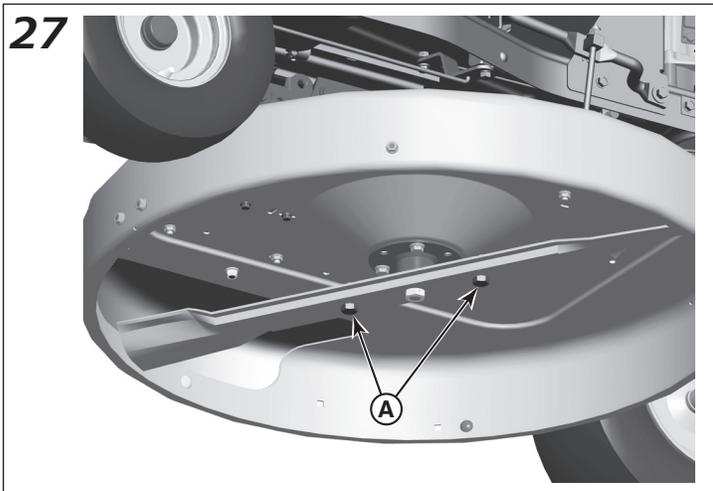
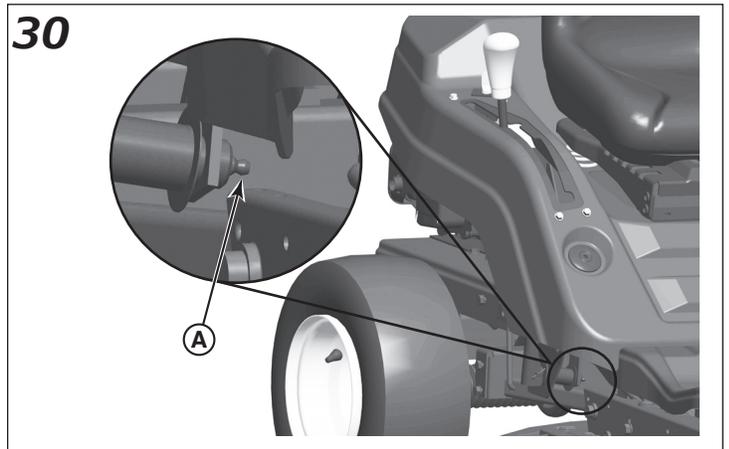
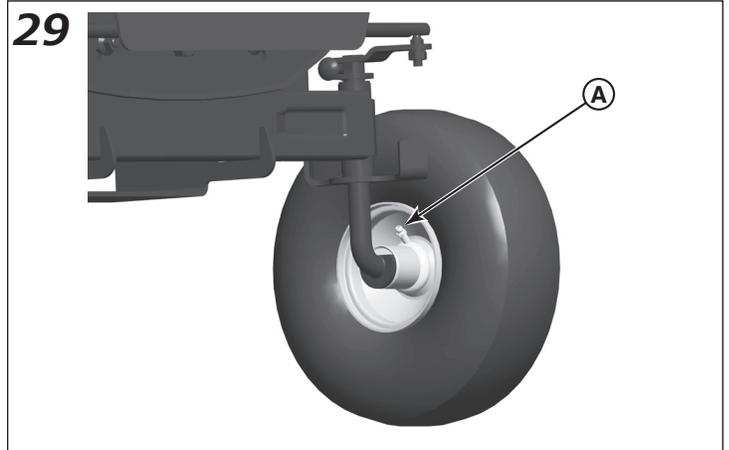
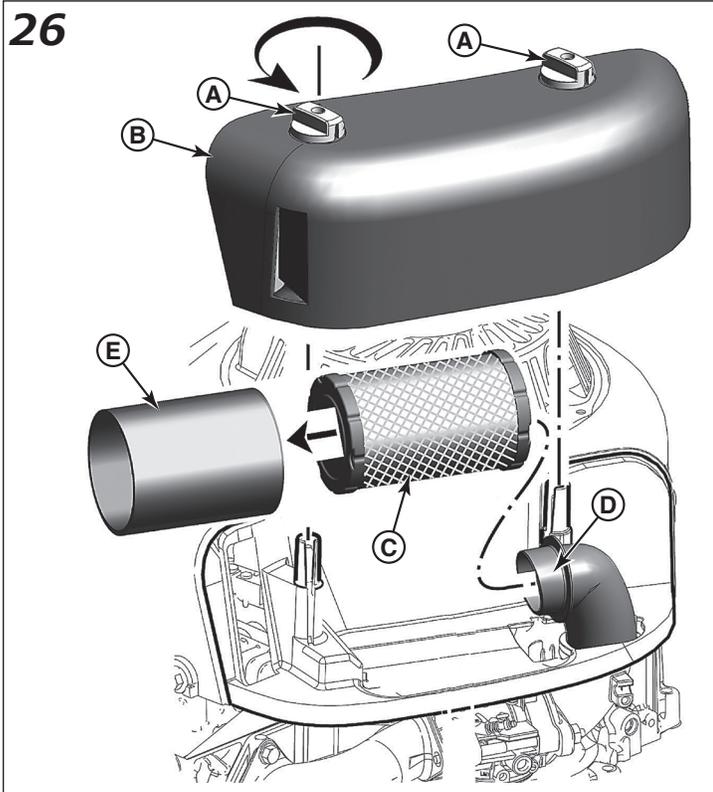




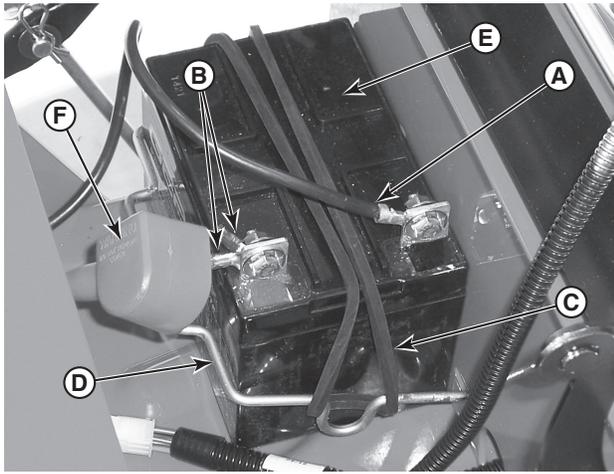




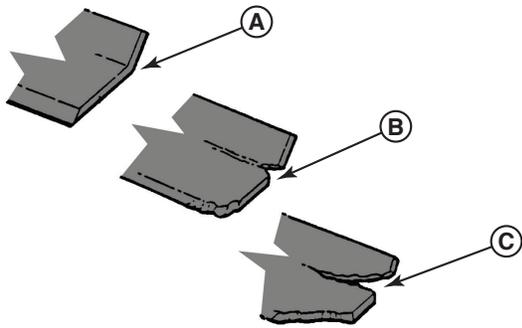




32



33



この高品質構造のリア・エンジン・ライダーをご購入いただきありがとうございます。このブランドを信頼していただき光栄に存じます。マニュアルに従って、運転および保守を行っていただければ、購入された製品は、長年にわたる信頼性のあるサービスをご提供します。

本取扱説明書には、装置に伴う危険とリスクを認識し、それらを回避するための安全に関する情報が含まれています。本リア・エンジン・ライダーは、運転者の使用説明書に記載されている通りに使用されるように設計されており、他の用途を対象にしておりません。本装置を始動または運転する前に、本説明書をよく読み理解することが重要です。今後の参照のため、本手順書の原本を保管しておいてください。

本製品を使用する前に最終的な組み立てが必要です。最終組み立て手順についての指示は、セットアップ・ガイドを参照してください。説明書の指示に完全に従ってください。

本マニュアルの対象製品

以下の製品は、本マニュアルの対象製品です。

2691347-00, 2691348-00, 2691354-00

マニュアルの内容:

運転者の安全	8
機能とコントロール装置	13
安全インターロック・システムの点検.....	14
運転.....	14
保守.....	18
トラブルシューティング	23
仕様.....	24

本製品にある画像は、代表的なものであり、これらが伴う説明文を補足するためのものです。所有されている装置と表示されている画像が一致しない場合があります。左 および 右 は、運転者の位置から見てです。

運転者の安全

安全警告シンボルおよび信号語

安全警報シンボル  は、人身傷害をもたらす可能性のある危険を示します。信号語(危険、警告または注意)は、潜在的な重大さを示す警報シンボルと共に使用されます。安全シンボルは危険のタイプを表すために使用される場合があります。「注」の信号語は人身事故に関係の無い操作に言及する場合に使用されます。

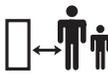
▲ 危険 は避けられなかった場合に、死亡或いは重傷をもたらされる危険を示します。

▲ 警告 は避けられなかった場合に、死亡或いは重傷をもたらされる可能性のある危険を示します。

▲ 注意 は避けられなかった場合に、軽傷、或いは中程度の傷害がもたらされる可能性のある危険を示します。

注 は製品が損傷される可能性のある操作を示します。

リア・エンジン・ライダーの危険シンボル 一般的な操作者の安全に関する警告

シンボル	意味	シンボル	意味
	傷害をもたらす可能性のある危険についての安全情報。		装置の運転または保守前に、操作マニュアルを読み、理解してください。
	物体が飛散する危険。		手足の切断の危険 - 回転刃。足を離してください。
	手足の切断の危険 - 可動部品に触れないでください。		手足の切断の危険 - 回転刃。手を離してください。
	周囲に人や子供を近づかせないでください。		有毒煙の危険。
	火災の危険。		爆発の危険。
	バッテリー爆発の危険。		感電の危険。
	高温面の危険。		爆発の危険。
	感電の危険。		跳ね返りの危険。
	目の保護具着用を推奨。		長時間使用する場合は防音保護具を使用することを推奨。

シンボル	意味	シンボル	意味
	保守実施前にキーを抜くこと。		保守実施前にパークプラグワイヤを外すこと。



警告

この強力な切断機は手足を切断する力があり、また物体を飛ばして傷害や損害を与える可能性があります。次の安全指示に従わない場合、使用者または他の人が重大な負傷または死亡する可能性があります。本機械の所有者はこれらの指示を理解し、機械の使用に関する指示を理解する者のみに使用を許可しなければなりません。本機械を使用する者は心身共に健康でなければならず、視覚、動作または判断力を損なう可能性のある薬物の影響下にはなりません。

一酸化炭素の警告



警告



有毒ガスの危険 エンジンの排気には有毒な一酸化炭素が含まれ、数分で死亡する危険性があります。一酸化炭素は透明、無味、無臭です。たとえ排気ガスの臭いを感じなくても一酸化炭素ガスに晒されている危険があります。本製品の使用中に吐き気、めまい、脱力感を感じた場合、「直ちに」使用を中止し新鮮な空気を取り入れてください。医師の診察を受けて下さい。一酸化炭素中毒にかかった疑いがあります。

- 本製品は、屋外でのみ、窓、戸口、換気口から離れて運転し、一酸化炭素が居住空間に流入して蓄積する危険を低減するようにして下さい。
- 電池式の一酸化炭素警報器、または予備の電池を備えたプラグイン式一酸化炭素警報器をメーカーの説明書に従って取り付けてください。火災報知機では一酸化炭素を検出できません。
- たとえ換気のためにファンを使用している場合や扉や窓を開けている場合でも、本製品を屋内、車庫、地下室、床下、倉庫や部分的に囲まれた場所では使用しないでください。このような場所では一酸化炭素は短時間で蓄積され、たとえ本製品の使用を中止した後でも何時間もその場に残ります。
- 本製品は必ず風下に設置し、エンジンの排気口を居住空間に向けしないでください。

子供の保護

使用者が子供の存在に注意を払わない場合、重大な事故が起こる場合があります。子供は、機械や芝刈り作業にしばしば大きな関心を寄せることがあります。過去に乗せてもらった子供は、もう一度乗せ

てもらおうと芝刈り場所に突然現れ、機械によって前進やバックで轢かれるかも知れません。子供は最後に見た場所にそのまま居続けると思い込まないでください。

1. 子供は芝刈り場所に入らないようにし、使用者以外の別の信頼できる大人の保護下に置くようにします。
2. (たとえ刃が動いていなくても)機械の使用中に子供を庭に入れないでください。
3. (たとえ刃が動いていなくても)機械、取り付け具、またはけん引される機器に子供やその他の人を乗せないでください。落ちて、重傷を負う危険があります。
4. 13歳未満の子供には機械を使用させてはなりません。
5. 機械の使用は、信頼できる大人および大人の監視下にある判断力を有する13歳以上の子供のみになさしてください。
6. 絶対に必要でない限り、逆向きに刃を動かさないでください。刃を止めてください。バックする前とその間は、子供、ペットおよび危険物がないかどうかを調べるために機械の後方および下を確認してください。
7. 視界を遮るかも知れない、見通しの悪い曲がり角、灌木、林などの物体に近づくときは特別の注意を払います。

横転の防止

傾斜地は、制御喪失および横転事故に関連する主要要因であり、重大な傷害または死亡がもたらされる場合があります。すべての傾斜地には特別な注意が必要です。傾斜地から戻れない場合、または不安を感じる場合は、芝刈りを中止してください。芝キャッチャーまたは他の取り付け具には特に気をつけてください。これらは機械の正常な取り扱いおよび安定性を損なうことがあります。

1. 10度(18%の勾配)以上の傾斜地で機械を運転しないでください。
2. 坂を上っている間は刃を動かさないでください。低速で使用し、突然の旋回や急な方向転換は避けてください。
3. 斜面では行ったり来たり小刻みに機械を動かさないでください。斜面を上って下りるようにしてください。傾斜地で刃を動かさない状態で練習してください。
4. 傾斜地では始動、停止または方向転換をしないでください。機械が坂を上れなくなったり、タイヤが滑ったりした場合、刃を止めてゆっくりと斜面を真っ直ぐに下りてください。
5. 地面の穴や他の隠れた危険物に注意します。背の高い芝だと障害物が見えにくくなります。溝、穴、排水溝、フェンス、および突出物に注意します。
6. 溝やその他の急斜面の縁から安全な距離(芝刈り機の幅の2倍以上)を取ります。縁が崩れた場合、機械が横転する恐れがあります。
7. 動かし始めるときは必ずゆっくりと慎重に前進させてください。
8. 機械が後ろに回転している間は前進させないでください。後ろ向きに転倒する恐れがあります
9. 芝キャッチャーまたは他の取り付け具に付属の説明書に従い、重りまたは重り付き運搬具を使用します。芝キャッチャーまたは他の取り付け具を搭載する場合は10度(18%の勾配)以上の傾斜地で機械を運転しないでください。

10. 足を地面に置くことによって機械を安定させようとししないでください。
11. 湿った芝の上で機械を運転しないでください。摩擦力が落ちると機械が滑る可能性があります。
12. 傾斜地では、停止またはギアシフトを行う必要がないよう十分低い速度を選択します。タイヤは、ブレーキが正しく機能しても、傾斜地上で静止力を失うかも知れません。
13. 静止力、ステアリング、または安定性に疑わしい点がある場合、いかなる状態であっても機械を運転しないでください。
14. 傾斜地を下る場合は必ず機械をギアに入れた状態にします。ニュートラルに入れて(またはハイドロールリリースを作動させて)坂を下らないでください。
15. 本機械の安定性は、適用されるANSI B71規格に従い、体重200ポンドの操作者によってテストされています。転倒または横転のリスクを最小限に抑えるため、体重が200ポンド以上の操作者は芝刈りの対地速度と傾斜地の勾配をさらに制限する必要があります。

準備

1. 本マニュアル、芝刈り機、エンジンおよび取り付け具に記載された指示および警告を、読み、理解し、そして従います。始動前に、機械の制御方法および適切な使用方法を理解します。
2. 機械は、責任感と分別のある者のみにより、適切な説明を受けた後に使用されるものとします。
3. 芝刈り機に関連する怪我の大部分には60才以上の使用者が関わっているというデータが示されています。これらの使用者は、自分自身および他人を重大な傷害から守るために十分な芝刈り機使用能力を有しているかどうかを確認しなければなりません。
4. 燃料の取り扱いには十分注意します。燃料は可燃物であり、気化ガスには爆発性があります。燃料容器には、認定品のみを使用します。エンジンが作動している状態で燃料キャップを取り外したり燃料を追加しないでください。燃料の追加はエンジンが停止して冷えた状態で屋外で行います。機械から漏れた燃料は適切に清掃します。喫煙してはなりません。
5. 刃を動かさない状態で機械の操作方法を学習し、技術を身につけてください。
6. 芝を刈るエリアを確認し、玩具、ワイヤー、石、木の枝、および刃に当たって飛ばされたり芝刈りの邪魔になったりする他の物体を取り除きます。
7. 人やペットが芝刈り区域に立ち入らないようにします。芝刈り区域に人やペットが立ち入った場合、刃、エンジンおよび芝刈り機を速やかに停止します。
8. シールド、偏向板、スイッチ、刃コントロール、および他の安全機器の適切な作動および場所を定期的に確認します。
9. すべての安全ステッカーがはっきりと判読できることを確認します。破損している場合は取り替えます。

10. 芝刈り時は自分自身を保護し、安全メガネ、防塵マスク、防音保護具、長ズボンおよび足を十分に保護する靴を着用します。
11. 緊急時の刃とエンジンの停止方法を理解します。
12. 機械をトレーラーやトラックに載せたり降ろしたりする時は特に注意します。
13. 芝キャッチャー部品に摩耗または劣化の兆候がないかどうかを頻繁に確認し、劣化または磨耗部分から物体が飛び出して負傷しないよう必要に応じて交換します。

ガソリンの安全な取扱い

人身または物損事故を避けるため、ガソリンの取り扱いには十分注意します。ガソリンは引火性が非常に高く、気化ガスには爆発性があります。

1. すべてのたばこ、葉巻、パイプなどの発火源を消します。
2. 燃料容器には、認定品のみを使用します。
3. エンジンが作動している状態で燃料キャップを取り外したり燃料を補充したりしてはなりません。エンジンが冷えてから燃料補充を行います。
4. 機械への燃料補充は室内で行ってはなりません。
5. 機械または燃料容器を、給湯器や電気器具の上のような、直火、スパークまたは種火があるようなところに、保管しないでください。
6. 車内またはプラスチックの床ライナーの付いたトラックまたはトレーラーの荷台で燃料容器に補充しないでください。必ず、容器を車両から離れた地面の上に置いてから燃料補充します。
7. ガソリンを動力源とする装置は、車両またはトレーラーから降ろして、地面の上で燃料を補充します。これが可能でない場合、ガソリンディスベンサーノズルからではなくポータブル容器を使用して装置に燃料補給をします。
8. 密閉された車内またはトレーラー内でガソリンを動力源とする機器を始動させてはなりません。
9. ノズルは、燃料補給が完了するまで、燃料タンクの縁または容器の開口部に常に接触させたままにします。ノズルロックオープン装置を使用しないでください。
10. 燃料が服の上にこぼれた場合は、直ちに服を着替えます。
11. 燃料タンクに燃料を入れ過ぎないようにしてください。燃料キャップを装着して、しっかり締めます。

運転

1. 乗り降りは、機械の左側から行います。吐き出し口には決して近づかず、障害物がないようにしてください。
2. 可能な限り運転席からエンジンを始動してください。刃が動いておらず、パーキング・ブレーキがかかっていることを確認します。
3. エンジンを動作させたまま機械から離れてはなりません。いかなる理由があっても運転席を離れる前にはエンジンを停止し、刃を止め、ブレーキをかけ、キーを抜いてください。
4. 足をフットレストまたはペダルに乗せて正しく着席するまでは機械を操作しないでください。

5. 芝キャッチャーを取り外し、芝刈り機の詰まりを取り除く際には、指や手を切断しないよう刃とエンジンを停止し、刃が停止していることを確認してください。
6. 芝を刈っている時以外、刃は必ず停止してください。荒れた地面の上を刈る場合、刃は一番高い位置に設定します。
7. デッキの下で回転している刃に手や足を近づけないでください。刃が動いたり機械が動いている間は足を地面に着けないでください。
8. 芝生キャッチャーまたはガードが完全に取り付けられておらず、機能しない状態で機械を動作させてはなりません。吐き出し口を人や通過する車、窓、ドア等に向けてはなりません。
9. 向きを変える際には、十分速度を落します。
10. 道路近くを走る場合、または道路を横切るときは車に注意します。
11. 物に当たった場合は直ちにエンジンを停止してください。機械を点検し、修理を行ってから操作を再開します。
12. 日光または良好な人工光の中でのみ機械を運転してください。
13. 荷をけん引する場合は十分な注意を用いてください。荷は安全にコントロールできる重さに制限し、付属の説明書に記載に従って荷を連結板に取り付けます。
14. 傾斜地では、けん引される機器の重量がけん引力の喪失および制御の喪失の原因になることがあります。けん引する際はゆっくり進み、停止するための余分な距離を考慮に入れます。
15. 密閉された区域でエンジンを始動させてはなりません。エンジンからの排出ガスには死亡につながる有毒性の一酸化炭素が含まれています。
16. 物体を壁や障害物に向けて吐き出さないようにしてください。使用者に向かって跳ね返ってくる可能性があります。
17. 付属品はメーカー認定品のみを使用します。付属品の適切な使用および取り付けについてはメーカーの指示を参照してください。
18. 騒音および振動のため、機械の運転時間を制限しなければならない場合があります。
19. 落雷のおそれがあるときは機械を運転しないでください。

けん引

1. けん引は、けん引用に設計された連結装置を有する機械でのみ行います。連結装置以外にけん引される機器を取り付けしないでください。
2. けん引される機器の重量制限および傾斜地でのけん引については、操作セクションの「けん引の実施」を参照してください。
3. けん引される機器に子供や他のの人を乗せないでください。
4. 傾斜地上では、けん引される機器の重量がけん引力の喪失および制御の喪失の原因になるおそれがあります。傾斜地で運転する際は注意してください。
5. ゆっくり進み、停止するための余分な距離を考慮に入れます。

保守

1. 芝刈り機または燃料容器は、そのガスが、給湯器、加熱炉、衣服乾燥機やその他のガス器具内の直火、スパークまたは種火に届くような場所に保管しないでください。機械を屋内に保管する前には、エンジンが冷えていることを確認します。燃料容器は子供の手が届かず、通気が良く、居住場所でない建物の中に保管します。
 2. 火事の危険およびエンジンのオーバーヒートを軽減するために、芝、落葉または余分な潤滑油をエンジンおよび機械から取り除きます。
 3. 燃料タンクから燃料を抜く際は、屋外で、直火から離れた場所で、認定容器を使用します。
 4. ブレーキは頻繁に点検し、必要に応じて調整、修理、または交換します。
 5. すべてのボルト、ナットおよびネジはしっかりと締め付けてください。すべてのコッタピンが適切な位置にあることを確認します。
 6. エンジンの運転中は常に十分な換気を行います。排気ガスには無臭で有毒な一酸化炭素が含まれています。
 7. 保守や修理を行う前にバッテリーから負極(黒色)ケーブルを外します。エンジンクランクを回すと負傷する恐れがあります。
 8. 安全ブロックを付けずに機械の下で作業しないでください。
 9. 装置の端を下にして立てないでください。
 10. エンジンの点検および調節はエンジン停止中のみに行います。スパークプラグからスパークプラグワイヤを取り外し、ワイヤをスパークプラグから離れた位置に保管します。
 11. エンジン調速設定を変更したりエンジンを過回転させないでください。
 12. マニュアルに記載された間隔で機械に潤滑油を差し、制御の固着を防ぎます。
 13. 芝刈り機の刃は鋭利で良く切れます。刃の取り扱い時は、刃をくろみ、あるいは厚手の革手袋を着用し、注意して作業します。
 14. スパークプラグはスパークプラグホルルの隣に接地することでテストしてはなりません。エンジン内のガスに着火する可能性があります。
 15. 機械は、認定ディーラーによる最低年1回の点検を行い、新しい安全機器を取り付けます。
 16. 安全および指示ラベルを維持し、必要に応じて交換します。
 17. 修理時は工場認定の交換部品または同等部品のみを使用します。
- ## イグニション・システム
1. このスパークイグニションシステムは、カナダの ICES-002 規格に適合しています。

安全および指示ステッカー

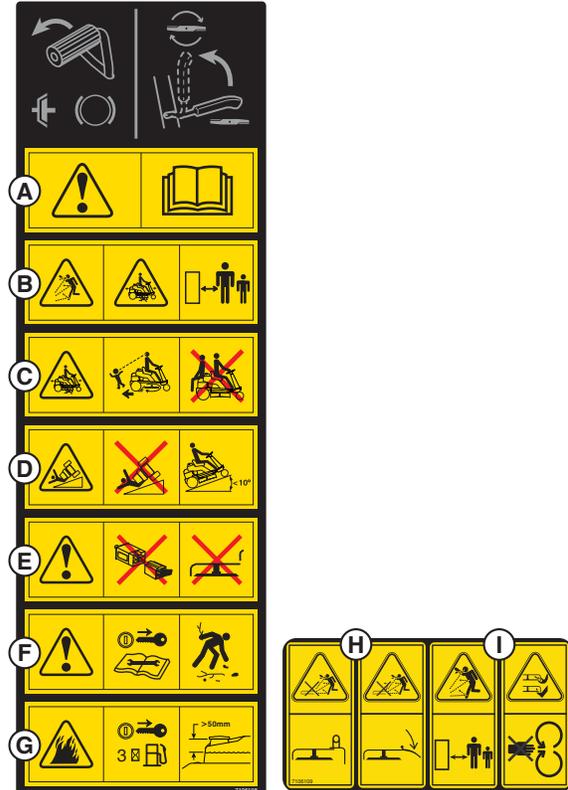
装置を使用する前に、安全および指示ステッカーをよく読み、理解してください(図1と下の表を比較)。注意、警告、および指示は使用者の

安全に関わるものです。負傷や装置の損傷を避けるため、すべての指示ステッカーを理解し、それらに従ってください。

<p>A クラッチ/ブレーキの操作 刃の嵌合操作 一般的な警告 メモ：ステッカーの構成および位置はモデルによって異なります。</p>	
<p>B 前進速度(マニュアルドライブモデル)</p>	
<p>C 後退速度(マニュアルドライブモデル)</p>	
<p>D トランスミッション解放(ハイドロドライブモデル)</p>	
<p>E 重量制限</p>	
<p>F エンジン速度コントロール チョーク制御(一部のモデル)</p>	
<p>G 吐出し口の安全(デッキの各側面に2 - 1)</p>	
<p>H 切断高</p>	

警告
安全または指示ステッカーが擦り切れたり破損したために読めない場合、交換ステッカーを販売店に注文して下さい。

安全ステッカーのアイコンの定義



<p>A</p>	<p>警告: 本機械を使用する前に操作マニュアルを読んで理解してください。すべての制御装置の位置および機能を理解してください。訓練を受けていない場合、この機械を運転しないでください。</p>
<p>B</p>	<p>危険、飛散物体および手足の切断の危険: 傷害を避けるため、周囲に人や子供を近づかせないでください。</p>
<p>C</p>	<p>危険 - 手足の切断の危険: 子供などが周囲にいる時は芝刈りをしないでください。絶対に必要でない限り、後進しながら芝刈りをしないでください。後進の前とその最中は、下や後方に注意してください。たとえ、刃が停止していても、人、特に子供を乗せないでください。</p>
<p>D</p>	<p>危険 - 転倒/横転の危険: 傾斜地では、上下方向に芝刈りを行い、横方向には芝刈りを行わないでください。10度以上の傾斜地で運転しないでください。</p>
<p>E</p>	<p>危険 - 手足の切断の危険: 回転刃および可動部による負傷を避けるため、安全装置(ガード、シールドおよびスイッチ)を取り付け、動作させます。</p>

F	危険: 修理および保守は、キーを抜き、技術資料を調べてから行います。刃によって飛散する可能性ある物体を取り除きます。
G	危険 - 火災の危険: キーを抜き、3分間待ってから燃料補給を行います。タンクに燃料を補充する場合、膨張を許容するため最上部から少なくとも50mmの余裕を残してください。
H	危険 - 飛散物の危険: 吐き出し口または芝キャッチャー全体を取り付けずに芝刈りを行わないでください。
I	危険 - 飛散物および手足の切断の危険: 回転刃による負傷を避けるため、デッキのエッジから離れ、他の人も近づかせないようにします。

機能と制御装置

図2の機能と制御装置を下の表と比較してください。

参照	説明	アイコン	アイコンの定義
A	運転席	--	--
B	ステアリングホイール - 装置の向きを制御	--	--
C	エンジン速度コントロール(図では非表示) - エンジン速度を制御		チョークオン(閉) - 装備している場合
			エンジン高速
			エンジン低速
D	切断高調節レバー - 切断高を調節		切断高が低
			切断高が高
E	パーキングブレーキラッチ(図では非表示) - ブレーキをロック		パーキングブレーキオン(嵌合)
F	刃コントロール - 芝刈り機の刃を嵌合		刃オン(嵌合)
			刃オフ(嵌合外し)
G	クラッチ/ブレーキペダル - クラッチ(マニュアルドライブモデル)およびブレーキをかける		クラッチ嵌合(マニュアルドライブモデル)
			ブレーキオン(嵌合)
H	ヘッドライト(非表示、一部のモデル)	--	--
I	マルチングカバー	--	--

参照	説明	アイコン	アイコンの定義
J	イグニション・スイッチ - エンジンを始動		エンジンオフ
			エンジンオン(稼動)
			エンジン始動
K	トランスミッション解放レバー(図では非表示、ハイドロドライブモデル) - 装置が自由に回転できるようにトランスミッションを解放		トランスミッション嵌合(ロック)
			トランスミッション解放(ロック解除)
L	後進芝刈りスイッチ - トランスミッションがバックに入っている時に一時的に芝刈り機の刃を動作可能にする	--	--
M	リコイルスタートハンドル(図では非表示)	--	--
N	トランスミッションシフトレバー(マニュアルドライブモデル) - トランスミッションの速度と方向を選択		前方対地速度
			ニュートラル(対地速度ゼロ)
			後方対地速度
O	燃料タンク	--	--
P	燃料ゲージ - 燃料タンク内の燃料の残量表示	--	--
Q	前方対地速度ペダル(ハイドロドライブモデル) - 前方対地速度を制御		前方対地速度
R	後方対地速度ペダル(ハイドロドライブモデル) - 後方対地速度を制御		後方対地速度

安全インターロック・システムの点検



危険

安全インターロックまたは安全装置がない場合または適切に機能していない場合は機械を作動させてはなりません。直ちにディーラーに連絡してサポートを受けてください。安全装置を無効化、変更または取り外してはなりません。

次の場合、エンジンは始動しません。

1. クラッチ/ブレーキペダルが完全に踏み込まれていない、または
2. 刃コントロールがオン(嵌合)の位置にある。

次の場合、エンジンは始動します。

1. 刃コントロールがオフ(嵌合外れ)の位置にあり、かつ
2. クラッチ/ブレーキペダルが完全に踏み込まれている。

次の場合、エンジンと刃は停止しなくてはなりません。

1. 刃コントロールがオン(嵌合)の位置のまま運転者が立ち上がり座席を離れた、または
2. クラッチ/ブレーキペダルがしっかりと踏み込まれていないまま運転者が立ち上がり座席を離れた、あるいは
3. 芝刈り機の刃が嵌合し、後進芝刈りオプション(RMO)が作動されていない状態で運転者が装置をバックに運転しようとした。



警告

芝刈り機の刃が外れた場合、5秒以内に完全停止するはずですが、5秒経っても刃が回転を続ける場合は機械を運転しないでください。調整するには機械を認定ディーラーに送ります。

運転

始める前に

運転開始前に毎回以下を確認し、必要な修理を行います。

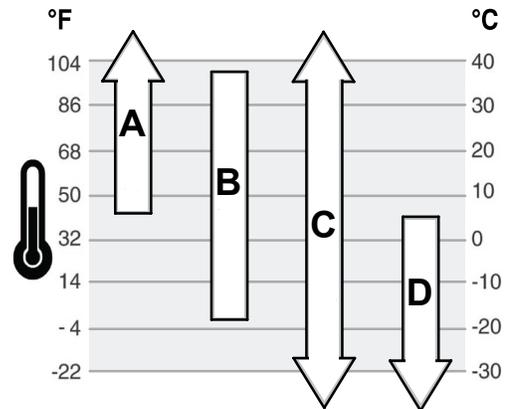
1. タイヤの空気圧を点検し、必要に応じて空気を入れるか抜きます。保守セクションの「タイヤ空気圧のチェック方法」を参照してください。
2. ガード、偏向板、およびカバーが取り付けられ、しっかり固定されていることを確認します。
3. エンジンオイルを点検し、必要に応じてオイルを追加します。「オイルの点検/追加方法」を参照してください。
4. 必要に応じて燃料を燃料タンクに追加します。「燃料の追加方法」を参照してください。
5. 必要に応じて運転席を最も快適な位置に調節します。「運転席の調節方法」を参照してください。
6. すべての運転者の制御装置が固着することなく自由に動かを確認します。

7. 安全インターロック・システムを点検します。「安全インターロック・システムの点検」を参照してください。

推奨オイル

最適な性能を得るために、ブリグズ アンド ストラットン純正オイルのご使用を推奨します。また、グレードSF、SG、SH、SJ以上に分類される高性能清浄オイルのご使用も可能です。特殊な添加剤は使用しないでください。

屋外の温度によって、エンジンに適したオイル粘度が異なります。下記のチャートを参照して、予想される室外温度範囲に最適な粘度を選択してください。



A	SAE 30 - 4°C(40°F)以下でSAE 30を使用すると、始動しにくくなります。
B	10W-30 - 27°C(80°F)以上で10W-30を使用すると、オイル消費量が増加する可能性があります。オイル量を頻繁に確認してください。
C	Synthetic 5W-30
D	5W-30

オイルの点検/追加方法

オイルの注入や点検の前に

- エンジンのレベルを設定して下さい。
- オイル注入口付近のゴミを清掃して下さい。

1. 検油棒(A、図3)を外して、きれいな布で拭いて下さい。

メモ：一部のモデルでは、検油棒は運転席背後の開口部からアクセスします。

2. 検油棒を差し込んで締めて下さい。
3. 検油棒を取り外して、オイル量を点検します。検油棒の満タン表示(B)の最上位置であるべきです。
4. 低い場合、エンジンオイル注入口にオイルをゆっくり追加します(C)。入れ過ぎないで下さい。オイルを注ぎ足した後、1分間待つて、もう一度液位を点検します。
5. 検油棒を再度差し込んで締めて下さい。

推奨燃料

燃料は次の条件を満たさなければなりません。

- 汚染されていない、新しい無鉛ガソリン。
- 87 オクタン以上/87 AKI(91 RON)。高地での使用は以下を参照してください。

10%までのエタノール含有のガソリン(ガソホール)はご使用になれません。

注 E15やE85などの承認されていないガソリンは使用しないでください。ガソリンにオイルを混入したり、代替燃料を使用するためにエンジンを改造したりしないでください。承認されていない燃料を使用するとエンジン部品を損傷させる原因になります。この損傷は保証の対象になりません。

燃料供給装置でガム質が生成されるのを防ぐため、燃料に燃料安定剤を混入してください。**保管の項を参照してください。**すべての燃料は同じではありません。始動または性能の問題が生じた場合、燃料供給業者またはブランドを変更してください。このエンジンは、ガソリンで動作することが保証されています。

このエンジンの排出制御システムは、EM(エンジンモディフィケーション)です。

高地

5,000フィート(1,524メートル)を超える高地では、85オクタン/85 AKI(89 RON)以上のガソリンをご使用になれます。

キャブレター・エンジンの場合、性能を維持するためには高地向けの調整が必要になります。この調整なしに使用すると、性能が低下し、燃料の消費が増え、排気量が増えます。高地調整の詳細については、Briggs & Stratton認定サービスディーラーにお問い合わせください。高度2,500フィート(762メートル)以下の場所で、高地の調整をしてエンジンを運転することは推奨されません。

電子式燃料噴射(EFI)エンジンの場合、高地調整は必要ありません。

燃料の追加方法



警告



燃料及びその気化ガスは非常に燃えやすく、爆発しやすいものです。火災及び爆発は、重度の火傷や死亡事故の原因となります。

燃料を追加する際

- エンジンを切り、燃料キャップを外す前に少なくとも5分間エンジンを冷やして下さい。
- 燃料タンクは屋外、または換気の良い場所で燃料の補充を行ってください。
- 燃料タンクに燃料を入れ過ぎないでください。燃料が膨張しても良いように、燃料タンクの細くなっている部分の一番下より上に充填しないでください。
- 燃料はスパーク、直火、種火、熱、その他の引火の原因となるものから遠ざけてください。
- ひびや漏れがないか定期的に燃料パイプ、タンク、キャップ、およびニップルを確認します。必要に応じて交換します。
- 燃料がこぼれた場合は、蒸発するまでエンジンの始動をお待ちください。

1. 燃料キャップ付近の埃やごみを清掃します。燃料キャップを取り外して下さい(A, 図 4)。
2. タンクに燃料を注入します。燃料の膨張を許容するため、燃料タンクの細くなっている部分(B)の一番下より上には注入しないでください。

メモ：燃料ゲージ(C)でタンク内の燃料の量を知ることができます。

3. 燃料キャップを再び取り付けます。

運転席の調節方法

エンジンを停止した状態で、

1. 運転席を上へ上げます。
2. 2つの調節ノブ(A, 図5)を緩め、座席を目的の位置に動かします。調節後、ノブをしっかりと締めます。
3. 運転席を下げます。

エンジンの始動方法



警告



有毒ガスの危険。エンジンの排気には有毒な一酸化炭素が含まれ、数分で死に至る危険性があります。一酸化炭素は透明、無味、無臭です。たとえ排気ガスの臭気を感じなくても一酸化炭素ガスに晒されている危険があります。本製品の使用中に吐き気、めまい、脱力感を感じた場合、「直ちに」使用を中止し新鮮な空気を取り入れてください。医師の診察を受けて下さい。一酸化炭素中毒にかかった疑いがあります。

- 本製品は、屋外でのみ、窓、戸口、換気口から離れて運転し、一酸化炭素が居住空間に流入して蓄積する危険を低減するようにして下さい。
- 電池式の一酸化炭素警報器、または電池バックアップを備えたプラグイン式一酸化炭素警報器をメーカーの説明書に従って取り付けてください。火災報知機では一酸化炭素を検出できません。
- たとえ換気のためにファンを使用したり扉や窓を開けている場合でも、本製品を屋内、車庫、地下室、床下、倉庫、その他部分的に囲まれた場所で使用しないでください。このような場所では一酸化炭素は短時間で蓄積され、たとえ本製品の使用を中止した後でも何時間もその場に残ります。
- 本製品は「必ず」風下に設置し、エンジンの排気口は居住空間に向けしないでください。

電動スターター:

1. 運転席にしっかりと着席します。
2. マニュアルドライブモデル - トランスミッションシフトレバーをニュートラル(N)の位置に合わせます。「トランスミッションの設定方法」を参照してください。



警告

トランスミッションシフトレバーをドライブ位置にしたままエンジンを始動しないでください。注意深く始動手順に従ってください。

3. 刃コントロール(A、図6)がオフ位置にあることを確認します。
4. クラッチ/ブレーキペダル(A、図7)をしっかりと踏み込みます。
5. エンジン速度コントロール(A、図8)を高速位置(装備されている場合はチョーク位置)に合わせます。

メモ：暖まっているエンジンをスタートさせる場合、チョーク位置にする必要はありません。

6. イグニッションキー(A、図9)をイグニッション・スイッチに差し込みます。エンジンが始動するまでキーをスタート位置に回します。

メモ：イグニッション・キーをスタート位置に回すとエンジンが回転を始めますが、クラッチ/ブレーキペダルがしっかりと踏まれ、刃コントロールがオフの位置にない限り始動しません。

メモ：エンジンをクランクしてから5秒経っても始動しない場合、クラッチ/ブレーキペダルがしっかりと踏み込まれているか確認し、20秒ほど待ってから再度始動してみてください。

7. エンジンが始動したら、エンジン速度コントロールを高速位置(チョークが装備されている場合はチョーク位置)に合わせ、エンジンが滑らかに回転するまでしばらく暖機運転させます。

メモ：常にエンジン速度コントロールを高速位置にして運転してください。

メモ：イグニッション・スイッチが運転またはスタート位置にある時、ヘッドライト(一部のモデルに搭載)はいつでも作動可能です。

リコイルスタート：

1. マニュアルドライブモデル - トランスミッションシフトレバーをニュートラル(N)の位置に合わせます。「トランスミッションの設定方法」を参照してください。



警告

トランスミッションシフトレバーをドライブ位置にしたままエンジンを始動しないでください。注意深く始動手順に従ってください。

2. 刃コントロール(A、図6)がオフ位置にあることを確認します。
3. パーキング・ブレーキをかけます。「パーキング・ブレーキの設定方法」を参照してください。
4. エンジン速度コントロール(A、図8)を高速位置(装備している場合はチョーク位置)に合わせます。

メモ：暖まっているエンジンをスタートさせる場合、チョーク位置にする必要はありません。

5. イグニッションキー(A、図10)をイグニッション・スイッチに差し込みます。キーを運転位置(B)に回します。
6. エンジンのリコイルスタートハンドル(A、図11)を握り、エンジンがスタートするまで素早く引きます。
7. エンジンが始動したら、エンジン速度コントロールを高速位置(チョークが装備されている場合はチョーク位置)に合わせ、エンジンが滑らかに回転するまでしばらく暖機運転させます。

メモ：常にエンジン速度コントロールを高速位置にして運転してください。

メモ：イグニッション・スイッチが運転位置にある時、ヘッドライト(一部のモデルに搭載)はいつでも作動可能です。

芝刈り機の刃の嵌合方法

1. エンジンの始動
2. 刃コントロール(A、図12)をオンの位置に合わせます。

トランスミッションの設定方法

マニュアルドライブモデル：

1. エンジンの始動
2. 前進するには：
 - クラッチ/ブレーキペダル(A、図7)を踏み込みます。
 - トランスミッションシフトレバー(A、図13)をニュートラル(N)の位置(B)から1速のノッチ(C)に合わせます。
 - クラッチ/ブレーキペダルを離し、前進移動を開始します。
 - 前進中、クラッチ/ブレーキペダルを踏まずにトランスミッションシフトレバーを好きな前進速度(D)に合わせることができます。

3. バックするには：

- クラッチ/ブレーキペダル(A、図7)を踏み込みます。
- トランスミッションシフトレバー(A、図13)をニュートラル(N)の位置(B)から後退速度スロット(E)に合わせます。

バック中、クラッチ/ブレーキペダルを踏まずにトランスミッションシフトレバーを好きな後退速度に合わせることができます。

ハイドロドライブモデル：

1. エンジンの始動
2. パーキング・ブレーキが解除されていることを確認します。「パーキング・ブレーキの設定方法」を参照してください。
3. 前進するには：
 - 前方対地速度ペダル(A、図14)をゆっくりと踏み込み、前進を開始します。ペダルをさらに踏み込むと対地速度が増します。
4. バックするには：
 - 後方対地速度ペダル(B、図14)をゆっくりと踏み込み、バックを開始します。ペダルをさらに踏み込むと対地速度が増します。

メモ：最適な芝刈り結果を得るには、低速の前進を選択してエンジン速度コントロールを高速位置にします。この組み合わせにすると、芝刈り機の刃が芝を持ち上げながらスムーズに均一に刈ることができます。

注

芝刈り機の刃が嵌合されている時にトランスミッションを逆向きに動かすと、エンジンが停止します。後進しながら芝刈りを行う必要がある場合、「後進芝刈りオプション(RMO)」を参照してください。



警告

バックする前とその間は、子供、ペットおよび危険物がないかどうかを調べるために後方および下を確認します。



警告

本機械を傾斜地に駐車しないでください。



警告

エンジンを運転させたままで機械から離れてはなりません。刃を止めてください。エンジンを止めてください。ニュートラルに変え、パーキング・ブレーキをかけます。キーを抜きます。

エンジン、トランスミッション、芝刈り機の刃の停止方法

エンジン

1. イグニッションキー(A、図15)をオフの位置に回してエンジンを停止します。
2. キーを抜きます。

トランスミッション

● マニュアルドライブモデル:

1. クラッチ/ブレーキペダル(A、図7)をしっかり踏み込んでクラッチを外し、ブレーキをかけることで装置の動きを止めます。
2. トランスミッションシフトレバーをニュートラル(N)の位置に戻します。「トランスミッションの設定方法」を参照してください。

● ハイドロドライブモデル:

1. 対地速度ペダル(A、図16)を完全に解放することで装置の動きを止めます。さらなるブレーキをかけるにはブレーキペダル(A、図7)を踏み込みます。

芝刈り機の刃

1. 刃コントロール(A、図6)をオフの位置に回して芝刈り機の刃を停止します。



警告

刃が外れた場合、5秒以内に完全停止するはずですが、5秒以上経っても刃が回転し続ける場合、刃のブレーキを調整する必要があります。調整には機械を認定ディーラーにお送りください。刃のブレーキを調整し、正しく機能するようになるまで機械を使用しないでください。

パーキング・ブレーキの設定方法

1. クラッチ/ブレーキペダル{X}(A、図17){X}をしっかり踏み込みます。
2. パーキング・ブレーキクラッチ(B)を上スライドさせ、クラッチ/ブレーキペダルを離して保持します。これでパーキング・ブレーキがかかりました。
3. パーキング・ブレーキを解除するには、クラッチ/ブレーキペダルをしっかり踏み込みます。パーキング・ブレーキが自動的に解除されます。

切断高の調節方法

1. 芝刈り機の切断高さ調整レバー(A、図18)を、切断ノッチの目的の高さに合わせて上下に動かします。

後進芝刈りオプション(RMO)



警告

後進しながらの芝刈りは、近くにいる人たちにとって危険です。使用者が子供の存在を見落とした場合、重大な事故が発生する場合があります。子供がいる場合は、RMOを作動させないでください。子供は、装置や芝刈りの作業にしばしば大きな関心を寄せます。

1. 芝刈り機の刃を嵌合させます。「芝刈り機の刃の嵌合方法」を参照してください。
2. 付属のキー(A、図19)をRMOスイッチ(B)に差し込み、キーを回してRMO機能を作動させます。LED光(C)によって、RMO機能が作動したことが示されます。
3. トランスミッションをバックに入れます。「トランスミッションの設定方法」を参照してください。
4. 芝刈り機の刃が外れるとRMO機能が解除されます。

吐き出し偏向板の取り付け方法



警告



エンジン稼働中に調節、保守、サービス、または修理を行おうとしないでください。

- エンジンを止めます。
- 刃を止めます。
- パーキング・ブレーキをかけます。
- キーを抜きます。
- スパークプラグからスパークプラグの配線を外し、プラグから離れた位置に固定します。
- エンジンおよび部品は高温です。深刻な火傷を防ぐため、機械の保守を行う前にすべての部品が冷めるのを待ってください。

1. マルチングカバー(B)の下端と芝刈り機のデッキを留めているナットとワッシャー(A、図20)を外します。



警告

この機械に常にマルチングカバーを装着している必要があります。取り外さないでください。

2. マルチングカバーを取り外します。ワッシャーとナットをデッキの固定ボルトに取り付け、しっかりと締めます。
3. 吐き出し偏向板(A、図21)を芝刈り機のデッキに取り付け、偏向板の溝(B)がマルチングカバーのヒンジブラケットにある固定用タブ(C)にしっかりと嵌合していることを確認します。
4. マルチングカバーを下に下げます。
5. 以下のように吐き出し偏向板を取り外します。
 - マルチングカバーを上上げます。
 - 芝刈り機デッキから吐き出し偏向板を持ち上げ、取り外します。
 - デッキの固定用ボルトからナットとワッシャーを外します。
 - マルチングカバーを下げ、ワッシャーとナットを締めます。十分に締め付けます。

装置を手動で押す方法

マニュアルドライブモデル：

1. 装置が平らな水平面に駐車していることを確認します。
2. トランスミッションシフトレバーがニュートラル(N)の位置にあるか確認します。「トランスミッションの設定方法」を参照してください。
3. パーキング・ブレーキがかかっている場合は解除します。「パーキング・ブレーキの設定方法」を参照してください。
4. これで装置は手で押すことができます。装置を目的の場所まで移動した後は必ずパーキング・ブレーキをかけてください。

ハイドロドライブモデル：

1. 装置が平らな水平面に駐車しているか確認します。
2. パーキング・ブレーキがかかっている場合は解除します。「パーキング・ブレーキの設定方法」を参照してください。
3. トランスミッション解放レバー(右後輪の後ろに配置)を引き出してロッキングスロット(A、図22)に差し込み、トランスミッションを解除します。
4. これで装置は手で押すことができます。
5. 装置を目的の場所まで移動したら、トランスミッション解放レバーを上上げて挿し込み(B)、トランスミッションをセットします。

トレーラーのけん引

水平方向の許容最大けん引力は34ポンド(150 N)*です。垂直方向の許容最大けん引力は20ポンド(90N)*です。

* おおよその値

保守



警告



エンジン稼働中に調節、保守、サービス、または修理を行おうとしないでください。

- エンジンを止めます。
- 刃を止めます。
- パーキング・ブレーキをかけます。
- キーを抜きます。
- スパークプラグからスパークプラグの配線を外し、プラグから離れた位置に固定します。
- エンジンおよび部品は高温です。深刻な火傷を防ぐため、機械で作業する前にすべての部品が冷めるのを待ってください。

保守スケジュール

ライダー
8時間ごと、或いは毎日
<ul style="list-style-type: none"> • 安全インターロックシステムのチェック • ライダーから異物を取り除く • エンジンエリアのごみを取り除く
25時間ごと、或いは年に一回 *
<ul style="list-style-type: none"> • タイヤ圧力のチェック • 芝刈り機の刃の停止時間のチェック • ライダーのハードウェアに緩みがないかのチェック
50時間ごと、或いは年に一回 *
<ul style="list-style-type: none"> • バッテリーおよびケーブルの清掃 • ブレーキのチェック
年に一回ディーラーに診てもらうこと
<ul style="list-style-type: none"> • ライダーに潤滑剤を塗布 • 芝刈り機ドライブベルトの点検 • 芝刈り機の刃のチェック**

* いずれか早い方

** 砂地または高塵埃状況を伴う地域ではより頻繁に刃をチェックします。

エンジン
最初の5時間
• エンジンオイルの交換
8時間ごと、或いは毎日
• エンジンオイルレベルの点検
25時間ごと、或いは年に一回 *
• エンジンのエア・フィルターおよびプレ・クリーナーの清掃**
50時間ごと、或いは年に一回 *
• エンジンオイルの交換
• オイルフィルターの交換
年に一回
• エアフィルターの交換
• プレ・クリーナーの交換
年に一回ディーラーに診てもらふこと
• マフラーの点検
• スパークプラグの交換
• 燃料フィルターの交換
• エンジンのエア冷却システムの清掃

* いずれか早い方

** 埃っぽい状況や、空中を浮遊するごみがあるときはより頻繁に清掃します。

エンジンの保守

エンジンオイルの交換方法

使用済みのオイルは有害廃棄物であり、適切に廃棄しなければなりません。家庭ゴミと一緒に廃棄しないで下さい。安全な廃棄とリサイクル施設については、地方自治体、サービス・センター、ディーラーにご確認下さい。

1. 前輪の下にレンガまたは木片をはさみ、エンジン後部を下げます。
2. エンジンのオイル注入キャップを緩めるか取り外します。
3. 2クォート以上の容量の容器をオイル・ドレイン端の下に置きます(図23)。
4. エンジンに装備されているオイル・ドレイン・プラグの種類に応じて、オイル・ドレイン・プラグを取り外すか開けます(AまたはB、図23)。

メモ： オイル・ドレインの位置はモデルによって異なります。

5. すべてのオイルを排出した後、ドレイン・プラグを元に戻すか閉じて、こぼれたオイルをすべて拭き取ります。使用済みオイルは適切に廃棄します。
6. エンジンに新しいオイルを注ぎます。操作セクションの「オイルの点検/追加方法」を参照してください。

オイルフィルターの交換方法(装備されている場合)

一部のモデルにはオイルフィルターが装備されています。交換時期については保守表をご覧ください。

1. エンジンからオイルを抜き出します。「エンジンオイルの交換方法」を参照してください。
 2. オイルフィルター(A、図24)を取り外し、適切に廃棄します。
- メモ： オイルフィルターの位置はモデルによって異なります。
3. 新しいオイルフィルターを設置する前に、オイルフィルターガスケットに新しい混入物のないオイルを潤滑油として少量使って下さい。
 4. ガスケットがオイルフィルターアダプターに接触するまで手で取り付け、それからオイルフィルターを1/2から3/4回転分締めます。
 5. オイルを注入します。操作セクションの「オイルの点検/追加方法」を参照してください。
 6. エンジンを起動します。エンジンの暖機運転中にオイル漏れを点検します。
 7. エンジンを止めてオイルレベルを点検します。適切なレベルは、検油棒の満タン表示の最上位置です。

エアフィルターの整備方法



警告



燃料及びその気化ガスは非常に燃えやすく、爆発しやすいものです。火災及び爆発は、重度の火傷や死亡事故の原因となります。

- エアクリーナーアセンブリ(装備されている場合)やエアフィルター(装備されている場合)を外した状態でエンジンを始動したり運転したりしないで下さい。

注

フィルターの清掃に圧搾空気や溶剤を使用しないで下さい。圧搾空気はフィルターを破損させる可能性があり、溶剤はフィルターを溶かします。

平面エア・フィルター

1. カバーのハンドル(A、図25)を引き出します。カバーのハンドルをエンジン方向に回し、カバー(B)を取り外します。
2. 装備されている場合、プレクリーナー(C)をフィルター(D)から外します。
3. 付着した汚れを取りやすくするため、フィルターを固い面の上で軽くたたきます。フィルターがひどく汚れている場合は新しいフィルターに交換します。
4. プレクリーナーを液体洗剤と水で洗浄します。それから、完全に空気乾燥させます。プレクリーナーには油を差さないでください。
5. 乾燥したプレクリーナーとフィルターをエンジン・ベース(E)に取り付けます。
6. カバーのタブ(F)の位置をブローハウジングのスロット(G)に合わせます。カバーのハンドルを回して戻し、押し戻して元の位置にロックします。

円筒カートリッジエアフィルター

1. ファスナー(A、図26)およびエアフィルターカバー(B)を取り外します。
2. フィルター(C)を取り外すには、フィルターの端を持ち上げて、フィルターを吸気口(D)から引き出します。

3. 装備されていれば、エア・クリーナー(E)をエア・フィルターから外して下さい。
4. 付着した汚れを取りやすくするため、フィルターを硬い面の上で軽くたたきます。フィルターがひどく汚れている場合は新しいフィルターに交換します。
5. プレクリーナーを液体洗剤と水で洗浄します。それから、完全に空気乾燥させます。プレクリーナーには油を差さないでください。
6. プレクリーナーが乾いたらフィルターに取り付けます。
7. フィルターを吸気口に取り付けます。表示されているように、フィルターの端をベースに押し込みます。フィルターがベースにしっかりと嵌っていることを確認します。
8. エアフィルターカバーを取り付けて、ファスナーで固定します。

ライダーの保守(基本)

安全インターロック・システムのチェック方法

操作マニュアルの「安全インターロック・システムのチェック」を参照してください。

ライダーおよび芝刈り機デッキの清掃方法



警告

切断刃の取り扱い時または作業時は厚手の革手袋を着用します。刃は非常に鋭利であり、深刻な怪我に繋がる可能性があります。

1. 芝刈り機デッキを一番高い切断位置まで上げます。「切断高の調節方法」を参照してください。
2. 芝刈り機デッキの下側を掃除し、刈られた芝やごみが溜まっている場合はすべて取り除きます。
3. デッキの上側を掃除し、刈られた芝やごみをすべて取り除きます。
4. ブラシまたは圧搾空気を使ってライダーに付着したごみを取り除きます。

エンジンの清掃方法

ブラシまたは圧搾空気を使ってエンジンやその周囲に付着したごみを取り除きます。

タイヤ空気圧の点検方法

タイヤゲージを使用してタイヤの空気圧を点検し、必要に応じて空気を入れるか抜きます。正しい空気圧については「製品仕様」を参照してください。

芝刈り機の刃の停止時間のチェック方法



警告



エンジンと刃が動作するためには以下の操作手順を行う必要があります。十分に注意して実施してください。はじめに緩めた部品やツールの部分をきれいにします。刃を動かすのは運転席に座している時だけにします。

1. エンジンの始動
2. 芝刈り機の刃を嵌めます。

3. 芝刈り機の刃を外します。刃は、刃制御装置をオフ位置にしてから 5 秒以内に回転を停止します。



警告

刃は、オフ位置になった後5秒以内に回転を停止しなければなりません。機械を運転しないでください。認定ディーラーに連絡して調整を依頼してください。

4. 刃が5秒以上回転し続ける場合は機械を運転しないでください。認定ディーラーに連絡してサポートを受けてください。

メモ：芝刈り機の刃の停止時間に関わる調整や整備は認定ディーラーが実施しなくてはなりません。

バッテリー整備の実施方法

「バッテリーの整備」を参照してください。

ブレーキ/パーキング・ブレーキのチェック方法

1. 機械のブレーキが正しく機能するか確認します。
 - パーキング・ブレーキをかけ、機械を押します。後輪がスリップするはずです。
 - 機械を前進させ、ブレーキをかけます。5フィート(1.5メートル)未満で機械が完全に停止するはずです。
2. ブレーキが正しく機能しない場合、機械を運転しないでください。認定ディーラーに連絡して整備を依頼してください。

ライダーの保守(上級)



警告

装置の端を下にして立てないでください。そのようにすると不安定な状態となり、重傷事故や装置の損傷を招く恐れがあります。

芝刈り機の刃のチェック方法



危険

過度の摩耗または損傷の兆候を示す切断刃は使用しないでください。

1. 刃取り付けボルト(A、図27)のトルクを点検します。必要に応じて、トルクを30~40フィートポンド(41~54 Nm)に調節します。
2. 刃の鋭さ、摩耗および損傷を確認します。「芝刈り機の刃の点検方法」を参照してください。
3. 刃が真っ直ぐになっているか確認します。「芝刈り機の刃の調整方法」を参照してください。

芝刈り機の駆動ベルトのチェック方法

芝刈り機ベルトは認定ディーラーによって磨耗や損傷がないか、また正しい張力であるか確認しなくてはなりません。保守スケジュールを参照してください。

燃料フィルターの整備方法



警告



燃料フィルターのサービスを行う前に、少なくとも5分待ちエンジンを完全に冷ましてください。

1. 燃料タンクを空にします。
2. エンジンを始動し、燃料が切れるまでエンジンを作動させます。イグニッション・スイッチをオフにしてキーを抜きます。
3. プライヤーを使用して、ホースクランプ(A、図28)をスライドさせて1インチ(2.5cm)ほど燃料フィルター(B)から離します。

メモ：燃料フィルターの位置はモデルによって異なります。

4. 燃料パイプをフィルターから外します。フィルターを廃棄します。
5. 新しい燃料フィルターを取り付けます。燃料パイプがフィルターに完全に取り付けられていることを確認してください。
6. ホースクランプをスライドさせて燃料パイプの端から1/8インチ(3mm)ほどの場所に戻します。
7. 燃料を燃料タンクに入れます。燃料システムに漏れがないか確認します。

潤滑方法

グリースニップル

装置にある次の部品にはグリースニップルが装備されており、定期的な潤滑が必要です。グリースガンを使って汎用グリース(NLGI No.2またはそれと同等の品)を注入してください。

● 前輪ベアリング

グリースガンを使用して前輪グリースフィッティング(A、図29)に汎用グリースを5回注入します。

● シフトレバー(マニュアルドライブモデル)

グリースガンを使用してシフトレバーグリースフィッティング(A、図30)に汎用グリースを2回注入します。

● 後輪ベアリング(マニュアルドライブモデル)

1. 左後軸ベアリングのグリースニップル(A、図31)にはグリースガンを使用して汎用グリースを3回注入する必要があります。
2. 右後軸ベアリングはディファレンシャル潤滑剤で潤滑され、グリースは必要ありません。

ディファレンシャル/チェーンケース(マニュアルドライブ装置)

ディファレンシャル装置およびチェーンケースの潤滑は認定ディーラーが実施しなくてはなりません。

芝刈り機の刃のスピンドル

これらの装置に使用されている芝刈り機の刃のスピンドルには密封スピンドルベアリングが装備されており、潤滑の必要はありません。

芝刈り機デッキ連結部

芝刈り機デッキ連結部のピボット点に潤滑剤を注入する場合は認定ディーラーにお問い合わせください。

その他の部品

通常の保守に加え、定期的に以下の部品に磨耗や損傷がないか認定ディーラーによる注意深い点検が必要です。

- すべてのブッシングおよびピボットエリア。
- 両方の前輪キングピンを点検します。
- トランスミッションシフトレバーおよび係止装置。(マニュアルドライブモデル)

クラッチディスク。(マニュアルドライブモデル)

- クラッチヨーク。(マニュアルドライブモデル)
- 芝刈り機デッキの連結部とピボットエリア。

摩耗したり損傷を受けている部品を交換します。修理時は工場認定の交換部品または同等部品のみを使用します。

バッテリーの保守 - バルブ調整タイプ

装置に搭載されているバッテリーは密封型であり保守の必要はありません。正しく充電を繰り返すこと以外に特別な注意は不要です。

バッテリーの取り外し方法

1. 運転席を上げ、バッテリーコンパートメントにアクセスできるようにします。
2. 黒色(負極)ケーブル(A、図32)をバッテリーの負極端子から外します。取り付け用ハードウェアを取っておきます。



警告



必ず黒色の負極(-)ケーブルから最初に外してください。

3. 赤色(正極)ケーブル(B)をバッテリーの正極端子から外します。取り付け用ハードウェアを取っておきます。
4. ワイヤフォーム(D)からバッテリーストラップ(C)の一端を外します。
5. 慎重にバッテリー(E)を取り出します。

バッテリーの充電方法

1. バッテリーを外します。「バッテリーの取り外し方法」を参照してください。
2. 換気が十分な場所にバッテリーを置きます。
3. 12ボルト定圧バッテリー充電器をバッテリー端子に繋がります。赤色が正極(+)、黒色が負極(-)端子です。
4. バッテリーを2~4時間充電します。



警告



本装置のバッテリーには、バルブ調整(密封型)の液漏れ防止バッテリー用にデザインされた定電圧(CV)充電器を使用する必要があります。標準の充電器を使用するとバッテリーが損傷するおそれがあります。このバッテリーに高速充電器を使用しないでください。バッテリーを装置に取り付けた状態で充電しようとししないでください。

バッテリーの取り付け方法

1. 運転席を上上げます。
2. バッテリー(E、図32)がワイヤフォーム(D)の中で図のように向くよう、バッテリーコンパートメントに取り付けます。
3. バッテリーをバッテリーストラップ(C)で固定し、何も無いほうの端をワイヤフォームに引っ掛けます。
4. 取り外したハードウェアを用いて赤色の正極(+)ケーブル(B)をバッテリーの正極端子(+)につなぎます。
5. 取り外したハードウェアを用いて黒色の負極(-)ケーブル(A)をバッテリーの負極端子(-)につなぎます。



警告



必ず黒色の負極(-)ケーブルを最後に接続してください。

6. 端子の周りに少量のグリースを塗布し、腐食を防止します。
7. 正極端子カバー(F)を正極端子にかぶせます。



警告



必ず正極端子を正極端子カバーで覆ってください。

バッテリーの保管方法

使用シーズンの終了後に装置を保管する場合、バッテリーを取り外し、充電してから保管することをお勧めします。

1. バッテリーを外します。「バッテリーの取り外し方法」を参照してください。
2. バッテリーを充電します。「バッテリーの充電方法」を参照してください。
3. バッテリーは装置から離れた木の床の上に保管してください。コンクリート面の上にはバッテリーを保管しないでください。

保管

1. 刈られた芝やごみをすべて取り除き、装置をしっかりと掃除します。
2. 必要に応じて保守と潤滑を行います。
3. 燃料タンクから燃料を抜きます(燃料安定剤を使用している場合を除く。「燃料システム」を参照)。
4. エンジンを始動し、燃料が切れるまでエンジンを作動させます。こうすることで保管中もキャブレターおよび燃料システムをクリーンに保つことができます。
5. バッテリーを取り外し、保管します。「バッテリーの保管方法」を参照してください。

燃料システム

30日以上保管すると燃料が劣化する恐れがあります。劣化した燃料は、燃料システムや重要なキャブレター部品に酸やガム質が生成され堆積する原因となります。燃料の鮮度を保つため、**Briggs & Stratton Advanced Formula Fuel Treatment & Stabilizer**, のご利用をお勧めします。この製品はBriggs & Stratton純正サービスパーツ販売店で入手することができます。

指示に従って燃料安定剤を追加した場合は、エンジンからガソリンを抜くことは不要です。保管する前にエンジンを2分間起動し、燃料システム全体に安定剤を循環させます。

エンジン内のガソリンに燃料安定剤を添加しない場合、規定の容器にガソリンを排出する必要があります。燃料が切れて止まるまでエンジンを回転します。鮮度を保つため、保存容器にも燃料安定剤を使用することを推奨します。

エンジンの調整および修理

エンジンの調整および/または修理は認定ディーラーのみで行ってください。

ライダーの調整および修理

以下の調整および修理項目は所有者が行うことができます。ただし、認定ディーラーによって行うことをお勧めします。

芝刈り機の刃の点検方法



警告



切断刃の取り扱い時または作業時は厚手の革手袋を着用します。刃は非常に鋭利であり、深刻な怪我に繋がる可能性があります。過度の摩耗または損傷の兆候を示す切断刃は使用しないでください。

刃に過度の摩耗または損傷の兆候がないか頻りに点検します(図33)。

(A) 新しい刃

(B) 摩耗限度(ノッチが始まる)

(C) 危険な状態 - 芝刈り機を使用しないでください! 新しい刃と交換します。認定ディーラーに連絡します。

芝刈り機の刃の研磨方法

認定ディーラーに連絡して芝刈り機の刃の研磨に関するサポートを受けてください。

芝刈り機の刃の調整方法

認定ディーラーに連絡してサポートを受けてください。

芝刈り機デッキの水平度の調整方法

認定ディーラーに連絡してサポートを受けてください。

ブレーキ/パーキング・ブレーキの調整方法

認定ディーラーに連絡してサポートを受けてください。

芝刈り機刃のベルトの張力の調整方法

認定ディーラーに連絡してサポートを受けてください。

刃のブレーキの調整方法

認定ディーラーに連絡してサポートを受けてください。

トラブルシューティング

問題	考えられる原因	是正処置
エンジンが始動しない	1. 操作者が着席していない。	1. 運転席に座る。
	2. イグニッションがオフの位置にある。	2. イグニッションスイッチをスタート位置にする。
	3. クラッチ/ブレーキペダルが十分に踏み込まれていない。	3. クラッチ/ブレーキペダルを十分に踏み込む。
	4. 芝刈り機の刃が嵌合している。	4. 芝刈り機の刃を外す。
	5. 燃料タンクが空。	5. 新しい燃料を燃料タンクの適切なレベルまで注入する。
	6. エンジンのチョークが必要(装備されている場合)。	6. エンジン速度コントロールをチョーク位置に合わせる(装備されている場合)。
	7. バッテリーが消耗しているか上がっている。	7. バッテリーを再充電するか交換する。
	8. バッテリーハーネス/ケーブルが外れている。	8. バッテリーハーネス/ケーブルを接続する。
	9. スパークプラグのワイヤが外れている。	9. スパークプラグのワイヤをスパークプラグに繋げる。
	10. ヒューズが飛んだ。	10. 新しい20アンペアのヒューズに交換する。
起動後のエンジンが失速する	1. 操作者が正しく座っていない。	1. 運転席に正しく座る。
	2. エンジン速度コントロールがチョーク位置になっている(装備されている場合)。	2. エンジン速度コントロールを高速の位置にする。
	3. 燃料タンクが空。	3. 新しい燃料を燃料タンクの適切なレベルまで注入する。
	4. エンジンの空気プレクリーナーおよび/または空気クリーナーが汚れている。	4. すべてのごみを取り除く。
	5. スパークプラグに不具合があるまたはギャップが適切に設定されていない。	5. スパークプラグを修理する。
	6. 燃料フィルターが制限されている。	6. 燃料フィルターを交換する。
	7. 水、ごみまたは古くなった燃料が燃料システムに入っている。	7. 燃料を取り出して燃料システムを清掃する。
エンジンの出力が低下する	1. エンジンの空気プレクリーナーまたは空気クリーナーが汚れている。	1. フィルターを清掃または交換する。
	2. スパークプラグが故障した。	2. スパークプラグを修理する。
	3. 水、ごみまたは古くなった燃料が燃料システムに入っている。	3. 燃料を取り出して燃料システムを清掃する。フィルターを交換する。
	4. エンジン冷却スクリーンにごみが蓄積している。	4. エンジン冷却スクリーンからすべての堆積物を取り除く。
過度の振動	1. 刃の部品が緩んでいる。	1. 緩んでいる部品を締める。
刃で芝を切断できない	1. 刃コントロールがオフの位置にある。	1. 刃コントロールをオン位置に合わせる。
適切に芝が刈れない	1. タイヤの空気圧が均一でない。	1. タイヤの空気圧を点検し、必要に応じて調整する。
	2. 切断高が低すぎるまたは高すぎる。	2. 切断高を調節する。
	3. エンジンの速度が遅過ぎる。	3. エンジン速度コントロールを高速の位置にする。
	4. 前方対地速度が速過ぎる。	4. 装置の前方対地速度が遅くなるよう調節する。

問題	考えられる原因	是正処置
芝が適切に吐き出されない。	1. エンジンの速度が遅過ぎる。	1. エンジン速度コントロールを高速の位置にする。
	2. 前方対地速度が遅過ぎる。	2. 装置の前方対地速度が遅くなるよう調節する。
	3. 芝が濡れている。	3. 芝が乾いた状態で芝刈りを行う。
	4. 刈られた芝やごみがデッキ下に溜まっている。	4. デッキの下側をきれいにする。

他のすべての保守上および運転上の問題については、最寄りの認定ディーラーに連絡してください。

仕様

	2691347-00	2691348-00 / 2691354-00
デッキサイズ(in / cm)	33 / 84	33 / 84
切断高(in / cm)	1.5 - 4.0 / 3,8 - 10,2	1.5 - 4.0 / 3,8 - 10,2
トランスミッションタイプ	5速ディスクドライブ	ハイドロ
対地速度 - 前進(mph / kph)	1.0 - 4.5 / 1,6 - 7,2	0 - 4.25 / 0 - 6,84
対地速度 - 後退(mph / kph)	0 - 1.9 / 0 - 3,1	0 - 1.7 / 0 - 2,8
排気量*(cc)	344	500
スパークプラグの隙間(in / mm)	0.030 / 0,76	0.030 / 0,76
スパークプラグトルク(lb-in / N.m)	180 / 20	180 / 20
オイル容量(oz / l)	48 / 1,40	48 / 1,40
燃料タンク容量(qt / l)	8 / 7,6	8 / 7,6
タイヤ空気圧 - 前(psi / バール)	15 / 1,03	15 / 1,03
タイヤ空気圧 - 後(psi / バール)	12 / 0,83	12 / 0,83

***出力定格：**各ガソリンエンジンモデルの出力定格は、SAE(自動車技術者協会)のコードJ1940(小型エンジン出力とトルクのレーティング手続き)に従ってラベル上に表示され、SAE J1995に従ってレーティングが行われます。トルクは、ラベルにrpmと示されているエンジンでは2600 RPMで、その他のエンジンでは3060 RPMで計測され、馬力は3600 RPMで計測します。グロス出力曲線はwww.BRIGGSandSTRATTON.COMでご覧いただけます。ネット出力は排気装置と空気清浄機を取り付けた状態で測定され、またグロス出力はこれらの部品のない状態で測定されます。実際のグロスエンジン出力はネットエンジン出力よりも高く、また特に周囲の動作条件や各エンジンの特性の違いによる影響を受けます。様々な製品にエンジンが搭載されることを考えると、特定の出力装置で使用された場合、ガソリンエンジンは定格のグロス出力を得られない場合があります。この差は、エンジン部品(空気清浄機、排気装置、充電器、冷却装置、キャブレター、ガソリンポンプなど)、使用における制限、周囲の動作環境(温度、湿度、海拔)、各エンジンの特性の違いなど様々な要因によって生じます。製造および能力上の制限により、Briggs & Strattonでは、このエンジンの代わりにより高い定格出力のエンジンを使用する場合があります。

